

《平成20年度予算申し入れ、並びに主な重点項目について》

平成19年12月4日(火)公明党鹿児島市議団として6名(川野幹男・藤田てるみ・中尾まさ子・崎元ひろのり・小森のぶたか・長浜昌三)全員で、森博幸鹿児島市長に「平成20年度予算編成についての申し入れ」を行いました。徹底した事務事業の見直しや、自主財源の積極的な確保等、創意工夫による市政の発展、並びに市民福祉の向上を求めて、重点項目57項目を含む163項目を申し入れしました。



主な重点項目は次の通りです。(申し入れの詳細は当市議団ホームページでご覧になれます。)

暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ○民間バスの路線廃止に伴う市民への影響を把握の上、交通弱者など市民の利便性に配慮したコミュニティバス、代替バス等の更なる充実を図られたい。 ○市税の収納率向上対策については、コンビニ・電子・クレジットカード納付など納税方法の拡充や納税自動電話催告システムの導入及び催告・収納業務の民間委託化など更に努められたい。
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ○出産育児一時金の「受取代理制度」を早急に導入されたい。 ○乳幼児医療費助成・母子家庭等医療費助成・重度心身障害者等医療費助成の現物給付の実施を県に強く要望されたい。 ○少子化対策の一環として、妊産婦無料健診を5回以上に拡充されたい。
街づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○九州新幹線の全線開業を見据え、新たな商業集積の形成等を活かしたまちづくりや観光対策を積極的に推進されたい。 ○土地区画整理事業の計画的な推進を図られたい。
防災	<ul style="list-style-type: none"> ○桜島の大爆発に伴う大地震発生の可能性等を踏まえ、住宅等の民間建築物の耐震化促進策を積極的に導入されたい。 ○住宅用火災警報器等の設置義務化を強力に推進されたい。また、それに伴う悪質な訪問販売の防止に取り組まれたい。 ○台風による浸水被害に対し抜本的対策を講じられたい。
教育	<ul style="list-style-type: none"> ○学校におけるいじめの現状を適切に把握し、実効ある対策を講じられたい。
行政改革	<ul style="list-style-type: none"> ○財政運営の効率化を図るために、業務の民間委託を積極的に推進するとともに、委託業者に対しては適正なる指導監督をされたい。 ○交通局の現状に鑑み、管理職をはじめ、職員に企業意識の徹底を図るなど、更に経営の健全化に努められたい。 ○水道料金等の滞納対策について更に努められたい。
病院	<ul style="list-style-type: none"> ○新病院の基本構想・基本計画策定等に当たっては、緊急医療や周産期医療等の政策的な医療に関し、県と十分協議の上、市民ニーズに即した内容となるよう取り組まれたい。
環境	<ul style="list-style-type: none"> ○「京都議定書」の発効に伴い、地球温暖化防止に係る多面的な施策を積極的に推進されたい。
経済	<ul style="list-style-type: none"> ○中小企業に対する融資限度額引き上げや信用保証料補助率引き上げ等と共に「責任共有制度」における貸し渋り防止対策に努められたい。 ○新たな大規模小売店舗の進出の影響に配慮し、既存の商店街の振興・活性化策を充実されたい。

<http://komei-kagoshimashi.com>

公明党鹿児島市議団

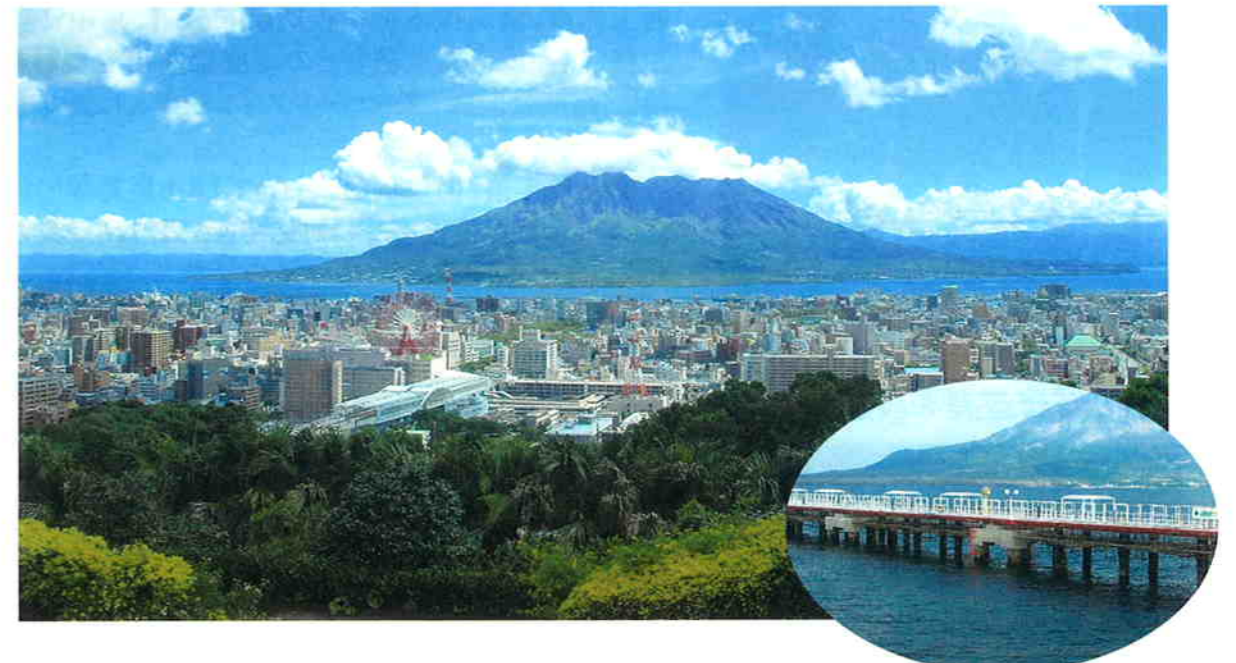
市政報告



発行:公明党鹿児島市議団

〒892-8677 鹿児島市山下町11-1
鹿児島市議会公明党控室
TEL 099-216-1439 FAX 099-216-1498
URL <http://komei-kagoshimashi.com>

2008年1月発行



リニューアルされた鴨池海づり公園

【平成19年第4回定例会を終えて】

平成19年12月4日(火)に開会した平成19年第4回定例会が、12月21日(金)に閉会しました。2007年度一般会計補正予算案は、13億9624万3千円を追加して、総額を2041億5566万2千円とし、一般会計補正予算案など40議案を可決しました。

市景観条例が制定され、また、市景観計画が策定されたことにより、本年6月から一定区域内で建築物の高さ制限、市内全域で建築物の色彩制限などが実施される事になりました。

また暴力根絶に関する決議案と「公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する意見書」案など、2意見書が可決されました。

主な歳出は、市電の軌道敷緑化整備事業の範囲拡大(高見馬場～新屋敷、JR鹿児島中央駅～中州通り)の費用として1億200万円などとなっております。

合併後の新市の一体化が推進される中、平成19年12月25日、新しい鹿児島市中心市街地活性化基本計画が、内閣総理大臣に認定されました。

NHK大河ドラマ「篤姫」の放映と共に、篤姫館もオープンし、平成23年の九州新幹線全線開業を踏まえた観光都市鹿児島国際化、中心市街地や農山漁村地域の活性化、新市立病院の建設問題、JT跡地の活用策等も含めて、これから本格的な新しい街づくりが期待されているところであります。

市民が主役の鹿児島市を目指して、これらの課題に全力で挑戦し続けて参ります。



篤姫館オープン(2008年1月6日)
(ドルフィンポート内)

皆様の声を実現しました！

◆市消防局高度救助隊 (スーパーレスキューかごしま)を設置



平成19年2月、発電機、照明等やクレーンを備えた救助工作車、画像探索機や夜間暗視装置、地中音響探知機、熱画像直視装置などの高度救助用資機材を整備し、高度救助隊(スーパーレスキューかごしま)を発足しました。

平成17年第2回定例会において「8・6災害等の経験を活かし、大規模災害等に対応できる消防高度救助隊を設置すべき」と提案していたものです。

◆公園に健康遊具を設置



平成18年度から、比較的大きな公園に健康遊具を年次的に設置する運びとなりました。

高齢者等の健康維持や増進を目的とした健康遊具を、「身近な公園内に設置を」と望む市民の声を受けて、平成16年第2回定例会で提案していたものです。

◆鹿児島市の「安心ネットワーク119」



平成18年8月30日から災害情報などを電子メールで配信するシステム「安心ネットワーク119」の運用を開始。災害や気象情報をリアルタイムで提供し、市民に喜ばれています。

配信内容は、火災情報、火災以外の救助事故等の災害情報、台風・大雨・地震等の気象情報、避難勧告や避難所開設等の避難所情報です。

平成17年第1回定例会で提案していたものが実現しました。

◆芸術家派遣プロジェクト事業の 継続実施を推進

当該事業は地元の芸術家が学校や地域において多様な芸術体験を創出する事業で、本市の文化芸術振興に寄与するプロジェクトとして、17年度以降も引き続き実施されることになりました。

これは平成16年第2回定例会で「春の新人賞創設30回記念事業」(平成16年度実施)として行った事業の継続実施を要望していたものです。

◆介護保険における 受領委任払い制度の導入を推進

「受領委任払い制度」とは利用者が費用の一部を事業者を支払うだけで、利用者の一時的な費用負担を軽減する制度。平成19年1月から福祉用具購入費と住宅改修費に適用。平成16年第3回定例会において制度の導入を求めていたものです。

◆市職員の退職時特別昇給制度を廃止

同制度は、退職金の算出基準となる基本給に勤続20年以上は退職時に1号昇給、同30年以上は2号昇給させていたもので、20年に満たなかった職員等を除くとほぼ100%が名誉昇給の対象(平成15年度は123人で、制度を適用しなかった場合との差額は4869万円で、1人あたり約40万円もの加算)になっていました。

平成16年度第2回定例会で、廃止を求めていた同制度が平成17年4月1日付で完全廃止となりました。

◆AED(自動体外式除細動器)の大幅拡充 全小・中学校にも



市議団でAEDの実地研修



本市の施設に設置されたAED

心肺停止の際、心臓の鼓動回復に大きな力を発揮する自動体外式除細動器(AED)。

心肺停止の救命効果の向上を図るため、平成17年第1回定例会での提案から、一貫して要望し続けた結果、本市の福祉施設やスポーツ施設、全中学校、全小学校の半数(残り半数は20年度に配備予定)、桜島フェリーとターミナル等に配備。現在までに、計182台を拡充することができました。市民の生命を守る取り組みが前進しています。

◆市税のコンビニ納付が実現

平成19年4月より「軽自動車税」のコンビニ納付がスタートいたしました。

平成16年第1回定例会で提案して以降、市民生活の利便性向上のため、要望し続けていたことが実現。平成20年度は、固定資産税・都市計画税・市県民税・国民健康保険税等、拡充予定となっています。

◆ブックスタート事業の開始 絵本の贈呈でママも大喜び



平成19年4月1日より、0歳児のBCG摂取時に保健所等で絵本を贈呈するブックスタート事業が開始され、大変好評を博しています。

絵本の読み聞かせを通して親子のふれあいを支援するもので、平成13年第1回定例会での提案から、導入を主張し続けてきたことが実現したものです。

5種類の絵本から選択でき、19年度は約5,500人の赤ちゃんが対象となっています。

◆国民健康保険証の個人カード



長年の公明党市議団の主張により、平成17年8月から、国民健康保険証の個人カード化が実現し、便利になったと好評です。

◆「鹿児島市エコカレンダー」の作成配布



鹿児島市は、毎日の生活の中で楽しく、地球温暖化対策を取り組んでもらえ

るよう「2008年かごしま市エコカレンダー」を5000部作成。平成18年第1回定例会で気軽にチャレンジできる「エコカレンダー」の作成を求めていました。

◆防災マップの改訂と全戸配布



平成18年度に「わが家の安心安全ガイドブック」防災マップ北部版・南部版と分冊作成され、全戸配布されました。

合併を機に、地域防災計画の見直しを反映した新たな「防災マップかごしま」の作成を検討すべきと、平成17年第3回定例会で提案したことが実現したものです。



◆窓口業務の時間延長を推進

平成19年から完全実施として、繁忙期(3月末~4月初旬)の窓口混雑緩和のため、本庁と谷山支所において、平日窓口を午後7時まで2時間延長、土曜日は臨時窓口を開設し、午前8時半~午後5時まで開庁しています。

平成17年第2回定例会において、市民の利便性向上のために本庁・支所の窓口時間延長を求めていたものです。